

令和3年第3回（9月）定例会 文教生活常任委員会報告書

議案番号	議案の名称	審査結果	採決日
議案第 8 5 号	令和3年度宝塚市病院事業会計補正予算 (第2号)	可決 (全員一致)	9月13日
議案第 8 9 号	宝塚市一般事務手数料条例の一部を改正 する条例の制定について	可決 (全員一致)	
議案第 9 0 号	宝塚市立教育総合センター条例の全部を 改正する条例の制定について	可決 (全員一致)	
議案第 9 1 号	宝塚市立小学校及び中学校の設置及び管 理条例の一部を改正する条例の制定につ いて	可決 (全員一致)	
議案第 9 4 号	令和2年度宝塚市病院事業会計決算認定 について	認定 (全員一致)	
議案第 9 6 号	工事請負契約(市立西公民館・西図書館空 調設備外改修工事)の締結について	可決 (全員一致)	
議案第 9 9 号	公の施設(宝塚市立共同利用施設売布会 館)の指定管理者の指定について	可決 (全員一致)	
請願第 2 1 号	教育条件整備のための請願	採択 (全員一致)	

審査の状況

① 令和3年 9月 8日(議案審査)

・出席委員 ◎江原 和明 ○川口 潤 浅谷 亜紀 伊庭 聡
北野 聡子 田中 こう 横田 まさのり

② 令和3年 9月13日(議案審査)

・出席委員 ◎江原 和明 ○川口 潤 浅谷 亜紀 伊庭 聡
北野 聡子 田中 こう 横田 まさのり

③ 令和3年10月 6日(委員会報告書協議)

・出席委員 ◎江原 和明 ○川口 潤 浅谷 亜紀 伊庭 聡
北野 聡子 田中 こう 横田 まさのり

(◎は委員長、○は副委員長)

議案番号及び議案名

議案第85号 令和3年度宝塚市病院事業会計補正予算(第2号)

議案の概要

補正後の令和3年度宝塚市病院事業会計予算

収益的収入及び支出

病院事業収益の予定額 134億2,761万円(1,714万7千円増額)

病院事業費用の予定額 134億2,587万2千円(1,714万7千円増額)

- ・市立病院において発生した医療事故に係る和解金の支払及びこれに充てる保険金の収入に伴い、医業外収益及び医業費用を、それぞれ714万7千円増額するもの。
- ・寄附金を受領して、職員などに慰労金を支払うため、医業外収益及び医業費用を、それぞれ1,000万円増額しようとするもの。

資本的収入及び支出

資本的収入の予定額 10億4,460万2千円(4,934万4千円増額)

資本的支出の予定額 18億4,154万1千円(4,934万4千円増額)

- ・新型コロナウイルス感染症対策関連補助金として、資本的収入の予定額を補助金において増額するとともに、資本的支出の予定額を建設改良費において増額するもの。

論 点 なし

<質疑の概要>

問1 補助金により購入予定の医療機器のうち、ネーザルハイフローについては中等症に有効で重症化を防ぐ効果も期待できると認識しているが、3台という数は妥当なのか。

答1 ネーザルハイフローは対応範囲が広く中等症から重症者に対応している。市立病院では、重症者にネーザルハイフローを使用する機会が多い。

今回配置されることで、重症者だけでなく中等症にも使用できる体制になったと考えている。

問2 医療事故の防止に向け、病院として今後どのような体制を取っていくのか。

答2 医療事故やインシデントに関しては、研修会を通じて全職員に呼びかけ、再発防止に努めている。研修会は新人を採用した春から夏にかけて1回、年度後半に1回開催しており、受講率は平均90%以上になっている。本事案に限らず、事故が発生した際は必ず医療安全のミーティングを行い、検討を加え、原因を精査し

た上で各部署に発信し、再発を防ぐよう努めている。

問3 過去にも阪神馬主協会から寄附はあったのか

答3 宝塚市に対する寄附は平成24年から継続して頂いているが、市立病院に対する寄附は今回が初めてである。

問4 コロナ禍において出るべき補助金は損失補填だと考えている。いろいろな使い方があると思うが、影響を受けた部分は補助金で補填されていると考えてよいか。

答4 補助金には大きく2種類あり、医療機器購入に係る補助金とコロナ患者受入による補助金に分かれる。国もコロナによって患者が減ったための損失補填ではないとしており、あくまでもコロナ患者の受入れによって確保できる補助金と考えている。

問5 医療従事者への慰労を目的とした寄附金による慰労金の給付とあるが、医療従事者の範囲はどのように考えているのか。

答5 事務職員であっても帰国者・接触者外来のサポートなどに従事している。医療従事者について広く考え、当院の運営を支える職員に広く等しく分配したいと考えている。

自由討議	なし
討論	なし
審査結果	可決（全員一致）

令和3年第3回（9月）定例会 文教生活常任委員会報告書

議案番号及び議案名	議案第89号 宝塚市一般事務手数料条例の一部を改正する条例の制定について
議案の概要	住民票の写しなどのコンビニ交付サービスにおいて取り扱う証明書について、新たに課税証明書と戸籍の附票を追加するため、条例の一部を改正しようとするもの。
論 点	なし
<質疑の概要>	<p>問1 コンビニ交付の目標値と実績値に大きな差があるが、どのように理解、分析しているか。</p> <p>答1 平成28年度導入当初の目標値は実績と大きく乖離しているため、令和元年に設定した宝塚市ICT戦略により令和2年度の目標値を下方修正し、令和3年3月時点で目標値をクリアしている。今後も交付率の向上を目指したい。</p> <p>問2 コンビニ交付で生じたトラブルは、自動的に市に情報提供される仕組みになっているのか。</p> <p>答2 システムエラーが発生した場合、J-LISが把握した場合は担当者に緊急連絡が入るようになっている。また、庁内に監視端末を置いており、連携等でエラーが発生している場合はアラートがつくようになっているため、システムが停止する前に気がつくようになっている。</p>
自由討議	なし
討 論	なし
審査結果	可決（全員一致）

令和3年第3回（9月）定例会 文教生活常任委員会報告書

議案番号及び議案名

議案第90号 宝塚市立教育総合センター条例の全部を改正する条例の制定について

議案の概要

近年の不登校児童生徒の増加や低年齢化などを踏まえ、教育支援センター(小学部)の充実のため、教育総合センターに第2分室を新設するほか、所要の整理を行うため、条例の全部を改正しようとするもの。

論 点 なし

<質疑の概要>

問1 教育支援センター(小学部)の児童受入時間は。

答1 小学部は週4日、午前10時開室を予定しており、月・木は正午まで、火・金は午後2時まで、水曜日は閉室する。

問2 不登校児童生徒数の増加と比較し登録人数は横ばい。子どもによって来室しやすい時間帯が違うのではないか。

答2 児童生徒に来室しやすい時間に通室すればよいと伝えている。開室時間について一定の枠は決めているが、個々の状況を踏まえて運営計画を立てている。

問3 小学生は悩みを言語化しにくい。寄り添った対応が必要となると考えるが、予定する職員数で対応が可能なのか。

答3 個々に応じた指導が必要と考えており、運営していく中で明確になれば、教育委員会の中で工夫していきたい。

問4 人員配置について、担当部局からは追加配置の要望があるが、市の考えは。

答4 分室の新設など、これまでの経過も含めて必要性は認識している。利用人数や担当部局での工夫も含めて、対応を検討する。

問5 小学部通室時の駐車場利用に際し、新たな負担はあるのか。

答5 通室は可能な限り公共交通機関利用とし、やむを得ず自家用車で送迎する場合、駐車スペースは3台確保し、新たな負担は発生しない形で考えている。

問6 学校に通っている不登校児童生徒のきょうだい児の精神的負担に対するケアは。

答6 保護者や子どもの思いはそれぞれ違い、やはり真ん中に据えなければならないのは、苦しんでいる児童生徒の気持ちだと考えている。そこをしっかりと見極め、

今できる中での一番の支援に努めている。	
自由討議	なし
討 論	なし
審査結果	可決（全員一致）

令和3年第3回（9月）定例会 文教生活常任委員会報告書

<p>議案番号及び議案名</p> <p>議案第91号 宝塚市立小学校及び中学校の設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について</p>
<p>議案の概要</p> <p>来年4月1日付けで、中山桜台小学校及び中山五月台小学校を廃校するとともに、新たに中山台小学校を開校するため、関係条例の一部を改正しようとするもの。</p>
<p>論 点 なし</p> <p><質疑の概要></p> <p>問1 学校統合については、吸収合併などではなく、新たな学校をつくると考えてよいか。</p> <p>答1 学校統合については地域・保護者・学校関係者で構成する中山台地区教育環境適正化検討委員会での検討の結果を受けて、教育委員会として新たな学校をつくるといった考え方で統廃合計画を策定している。</p> <p>問2 大きな学校と小さな学校の統合であり、受け入れる、受け入れられるといった関係性になるのではないか。児童へのケアや学校での取組は。</p> <p>答2 子どもたちが交流を通じて互いを知り仲よくなっていくことが重要であり、コロナ禍ではあるが、昨年度1度もできなかった交流を、今年度はできることから工夫して実施している。</p> <p>職員間では、夏季休業中に合同の職員会議を開いた。来年度新しくなる学校のテーマを「仲間づくり」として、現在の子どもたちの交流と併せて、職員間でも意識を持ち、地域や保護者にも理解いただいで進めている。</p> <p>問3 学校名のアンケート結果では、「中山桜台小学校」の支持が一番多かった。新校名を「中山桜台小学校」にしなかった理由は何か。</p> <p>答3 中山桜台小学校区は広く人口も多いことを考慮し、新たな学校をつくっていいこうという思いから採用しなかった。</p>
<p>自由討議 なし</p>
<p>討 論 なし</p>
<p>審査結果 可決（全員一致）</p>

令和3年第3回（9月）定例会 文教生活常任委員会報告書

議案番号及び議案名

議案第94号 令和2年度宝塚市病院事業会計決算認定について

議案の概要

令和2年度病院事業会計決算について、地方公営企業法の規定により、議会の認定に付するもの。

収益的収支

収入総額 130億7,030万6,741円

支出総額 129億914万7,900円

差し引き1億6,115万8,841円の黒字となり、消費税などに伴う経理処理をした結果、当年度の純利益は1億6,006万4,608円となった。

収支差内訳については、医業収益は入院・外来患者数の減等により前年度比4億3,430万円余減少した。

経常利益は新型コロナウイルス患者の入院受入等に関する国・県補助金が4億6,050万円余あったため、4億40万円余の赤字に抑えられた。

また、純利益については、市から経営支援の補助金が5億7千万円あったため、1億6千万円余の黒字となった。

資本的収支

収入総額 12億4,010万187円

支出総額 19億997万4,083円

差し引き6億6,987万3,896円の資金不足が生じたが、当年度分損益勘定留保資金などで補てんした。

資金不足比率は8.40%で、前年度比5.1ポイント改善した。

論 点 なし

<質疑の概要>

問1 令和元年度と比較した入院、外来における1人1日当たりの診療収入の増加は予定どおりか。

答1 1人1日当たりの診療報酬の増加は収益確保の大きな要因で、市立病院としては、治療が必要な医療はしっかり感染対策を講じた上で継続して提供するものと考えている。呼吸器外科及び乳腺外科の医師確保による手術増や、経営改善の院内プログラムにおける入院期間の適正化を目指した疾患別入院日数の適切な見直し、単価の増につながったと考えている。

問2 診療科別延べ入院患者数の推移を見ると、耳鼻咽喉科など診療科により入院患者数が大きく減っている。新型コロナウイルス感染症以外の患者の治療や入院への影響や対応策は。

答2 昨年の新型コロナウイルス感染症蔓延時には、耳鼻咽喉科や歯科口腔外科など治療が止まった時期があったが、現在は再開している。一番打撃を受けたのが小児科で、令和2年度は医師を増員したが相対的に患者数が半減以下になった。現状は今もあまり変わらないが、治療を止めるわけではなく、できる限り治療を進めている。

問3 救急患者の受入状況は。

答3 令和元年度の救急車の受入台数は4千台超であったが、令和2年度は3千台少しであった。減少した要因として、一つは救急車自体を使用する患者が減少したこと。もう一つは、救急科の医師がコロナ感染症患者の治療に当たっているため利用制限をする時期があったことだと考えている。従前より、救急からの入院率は20%前後であったが令和2年度は50%近くになっており、従来通り対応できていたと考えている。

問4 診療科ごとの患者数及び収益について、継続した分析を行っているのか。

答4 個別に議論はしてこなかったが、これからの収益の拡大にとって非常に重要だと考えている。今年は、毎年行っている各診療科へのヒアリングに特に力を入れており、マンパワーや過年度に購入した医療機器の有効利用、患者の流れなどを資料に基づき厳しく行っている。

ポストコロナ時代では医療の在り方は変わってくると考えており、市民へのどのような医療の提供が最も効率的であるか、課題を持って検討するよう努めている。

問5 今回の決算に関して、医師の退職による収入の増減など新型コロナ以外の影響はどの程度あったのか。

答5 医師の退職による患者数の減はなかったと考えている。

問6 DPC（包括医療費支払い制度）による診療科ごとの患者数及び収益の考え方は。

答6 DPCは最終退院した診療科単位となるため、例えば内科で入院し外科で退院した場合は、外科で集計される。

自由討議	なし
討論	なし
審査結果	認定（全員一致）

令和3年第3回（9月）定例会 文教生活常任委員会報告書

議案番号及び議案名

議案第96号 工事請負契約（市立西公民館・西図書館空調設備外改修工事）の締結について

議案の概要

小林2丁目地内において、一部の空調設備が故障しているほか、屋上の防水シートの一部が剥離するなど、老朽化が進んでいる市立西公民館・西図書館について、中央空調方式から個別空調方式への切替え並びに受変電設備及び屋上防水の改修工事などを実施するため、工事請負契約を締結しようとするもの。

請負金額 2億1,450万円

請負業者 富士古河E&C株式会社神戸営業所

論 点 なし

<質疑の概要>

問1 定期的に西公民館を利用している登録団体の活動場所について、中央公民館や東公民館を借りられない場合も想定される。市内の他の施設について、費用なども差がないような配慮も含め借りられるようにするなどの計画はあるか。

答1 近隣施設では、くらんど人権文化センター、小林会館及び仁川の公益施設などの連絡先等の案内を検討している。施設ごとに目的や料金、利用ルールなどが異なるため、それらを理解した上で、それぞれの団体で申込みを行い、ご利用いただくことになると考えている。

問2 コロナ禍において感染が広がるなど工事が延長された場合の対応など考えているのか。

答2 工事の入札に当たっては、入札参加業者に新型コロナウイルスに対する感染対策を実施した上での業務の履行を依頼している。また、請負業者にも感染対策を十分徹底して工事を実施するよう周知する。新型コロナウイルスを原因とするトラブルは、天災に準じた扱いとなり、万が一工事が延長される場合は、業者と市の双方で協議し対処する。また、利用者に速やかに周知、対応していく。

問3 6か月という休館の期間を、市民が集える図書館、出会える図書館など、図書館の方向性について職員が議論を進める機会にしてほしいがどうか。

答3 中央図書館と西図書館の職員が同じ場所に集い研修や議論を行う機会はなかなかない。この機会に、取組の検討もしていきたい。

問4 工事の入札について、市内業者の応札は何者あったのか。

答4 入札に参加したのは8者で、そのうち市内業者は1者だった。

問5 西公民館の自習室を利用している子どもたちの居場所づくりとして、他の公共施設の1部屋を専用で借りるなどできないか。

答5 代替に専用室を借りることは難しいが、市内の各施設で自習室を設けているところがあるので、その案内掲示等も含めて検討していきたい。

自由討議	なし
討論	なし
審査結果	可決（全員一致）

令和3年第3回（9月）定例会 文教生活常任委員会報告書

議案番号及び議案名

議案第99号 公の施設（宝塚市立共同利用施設売布会館）の指定管理者の指定について

議案の概要

令和4年(2022年)4月1日から令和8年(2026年)3月31日までの間における宝塚市立共同利用施設売布会館の指定管理者として、売布小学校区まちづくり協議会を指定しようとするもの。

論 点 なし

<質疑の概要>

問1 付帯意見に「前指定管理者への協力依頼や相談などを丁寧に行う」とあるが、市が今後どのようにサポートなどする見込みなのか。

答1 市も関わっていく必要があると考えている。新たな指定管理者が前指定管理者と話す場があれば、市もその機会を逃すことなく参加していくことを考えている。

問2 2者を指名したが、応募が1者だったことについての経緯は。

答2 応募のなかった1者は、(共同利用施設売布会館管理運営の)事務引継ぎを行った際や募集要項を送った際も、今後応募しないとのことであった。

応募しない理由としては、応募すると競合することとなり、その場合、相手方から協力してほしいと言われても、これまでの経緯もあり不信感からうまくやっいけないのではないかと、仮に一緒に運営しても認識のずれがある中ではうまくいかないのではないかと、さらには市への不信感、そして、昨年いろいろあったためエネルギーを使い果たしたなど、複数の点があったと認識している。

問3 指定管理者の応募者としてまちづくり協議会の財務基盤を調べるのは、同じ地域団体といえども任意団体で会費徴収などしている自治会とは違うと思う。

今後、指定管理の選考基準自体も考えていくべきではないかと思っているが、4年後に向けてどう考えていくのか。

答3 その点は、次回への重要な課題と認識している。選定委員会委員からも、応募者は自治会などが多い現状であり、評価項目が実態と合っていないのではないかという意見もあった。次回の選定に当たっては、他市の事例、この委員会での指摘など総合的に市で取りまとめ、選定委員会で議論し、見直しを検討していきたい。

問4 今回応募しなかった1者は、昨年の指定管理者の選定により応募した2者の中で大きな溝ができてしまったなどの思いが今もあるとのことだった。今後このよ

うなことが起こらないよう、4年後の指定管理者の指定に向けて議論が必要だという答弁があったが、まだ、これについての総括が行われていないのか。

答4 今回の選定も含め課題があることを認識した。課題にどう対応していくか、市だけではなく、選定委員会委員の意見を聞き慎重に考えていきたい。そのため、選定委員会の開会もできるだけ時間を取って議論いただくことを考えており、他市の状況も情報収集する中で、しっかり検討していきたい。

自由討議	なし
討論	なし
審査結果	可決（全員一致）

議案番号及び議案名

請願第21号 教育条件整備のための請願

<請願の趣旨>

「ゆとりと希望の教育の創造」をめざす教育改革は、福祉とともに21世紀の最も重要な課題である。また、「子どもの権利条約」に掲げられている子ども自らの願いを政治に生かすための制度の確立も急務である。

宝塚市では、「いじめ」「不登校」「学級崩壊」などの解決にとりくんでいる。さらに、今年度も新型コロナウイルス感染症の未だ先行きが見通せない中であって、学校現場では子どもたちの豊かな学びと育ちの保障や心のケア、感染症対策などの様々な課題が山積しており、これらの教育課題克服のためには、教育予算のいっそうの充実と制度の拡充が必要である。

徐々に改善されてきているところであるが、さらなる充実を願い、下記の内容で請願するもの。

<請願の項目>

1 豊かな教育を創造する教育予算の充実と保護者負担の軽減を

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策のために、更なる予算拡充をおこなってください。
- (2) 教育予算を削減しないでください。また現場のニーズに応じた予算拡充をおこなってください。
- (3) 備品費・学校需用費の削減をせず、保護者負担を軽減してください。
- (4) 外国籍の子どもたちへの生活・学習支援を拡充してください。
- (5) 子ども支援サポーターの増員をしてください。
- (6) スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの配置の拡充をすすめてください。
- (7) 幼稚園・保育所の施設・設備および定員の拡充をはかってください。
- (8) GIGAスクール構想がより実効性のある事業となるよう、学校のICT化のために、更なる条件整備をおこなってください。
- (9) 「安全・安心でおいしい給食」を充実させるための予算拡充をおこなってください。
- (10) 学校図書館充実のために、更なる予算拡充をおこなってください。
- (11) LGBTsの観点から、誰もが安心して通える学校づくりをおこなってください。

2 障がい児教育の充実のために

- (1) 地域のすべての学校に、個々の障がい特性に合わせたトイレを設置してください。また、各学校の実情に応じ、合理的配慮が盛り込まれた基本的な環境を整えるため、施設設備（エレベーター・相談室・プレイルーム・スロープ等）の改善をは

かってください。

(2) 子どもの実態に応じて、学校には、子どもの学びや自立に必要な介助員を増員してください。また、プール指導等の介助員も増員してください。

(3) 医療的ケアの必要な子どもが、どこの学校においても安心して教育が受けられるように十分な体制をつくってください。

(4) 一人ひとりの思いを尊重し、ニーズにあった支援計画を明確にし、卒業後の進路保障においても方策を講じてください。

- ・「障がい者のための働く場」の拡充をはかってください。
- ・市職員採用の障がい者枠の拡大をはかってください。
- ・高校進学にあたっては、障がい特性に合わせた受験サポートや合理的配慮をはかってください。

3 中学生の卒業後の進路を保障するために

(1) 公立高校の開門率をあげるために、学級増を県に要求してください。

(2) 高等学校への就学助成および奨学金制度・入学支度金制度を拡充してください。

(3) 中学を卒業した、いわゆる「無業者」への対策をしてください。

4 文化厚生施設の充実のために

(1) 子どもたちが安心して遊べる公園を増やすとともに、児童館の設備や環境の更なる充実をはかってください。

5 地域の教育発展のために

(1) 地域スポーツ指導者の確保と育成につとめてください。

(2) 「青少年を育てる地域づくり」のためのとりくみの充実をはかってください。

(3) 外国人市民との交流をはかるためのとりくみの充実をはかってください。

<質疑の概要>

問1 GIGAスクール構想が実効性のある事業となるために具体的に取り組んでほしい内容は。

答1 (紹介議員A) タブレット端末については、国から1人1台、4万5千円の補助金が出ているが、特別支援学級担任や専科の担当教員は補助対象となっていないため支給されていない。また、家庭での通信環境が100%整っていないなど、オンライン授業の実施に向けては、まだまだ課題が残っている。

問2 給食室のドライ方式化、老朽化対策や衛生管理上の課題など、どう捉えているか。

答2 (市当局) 給食室のドライ方式化は食中毒を防ぎ安全に調理するためのシステムである。また、給食室の空調管理については、ガス調理機器が多く、老朽化により一酸化炭素が発生することがある。これらのことから、安全面という視点で

施設整備を進めるための予算を重点化させていかなければならないという認識を持っている。

問3 タブレット端末の積極的な利用が始まれば故障、紛失などが起こると思うが、その際の家庭の負担や、代替機での速やかな対応などができるのか確認したい。

答3 (市当局) タブレット端末の故障については、故意でない限り保険の対象になる。代替の予備機については十分でない状態なので、全ての子どもにすぐ対応するのは厳しい状態である。その場合、教員のタブレット端末を見る、大型ディスプレイに映すなど、各学校で工夫して対応していく。

自由討議	なし
討論	なし
審査結果	採択(全員一致)